

事業名 ASO一周100kmチャレンジキャンプ

- [主催] 国立阿蘇青少年交流の家
 [後援] 熊本県教育委員会 阿蘇郡市各教育委員会
 [期日] 令和5年8月6日(日)～12日(土) 【6泊7日】
 事前説明会 令和5年7月30日(日)
 [活動場所] 国立阿蘇青少年交流の家及び阿蘇各地
 [参加者] 22名(小学生14名、中学生8名)
 [担当職員] 阿蘇青少年交流の家6名
 [関係団体] 南阿蘇ファームキャンプ
 [ボランティア] 法人ボランティア5名、熊本大学社会教育演習生5名

1 趣旨

自然環境に恵まれた「阿蘇」の大地をフィールドとして、100kmの長距離ハイキングやキャンプ活動等を通して、同じ目的をもった仲間とともに困難に挑戦し、最後までやり遂げる力を育むとともに他者への思いやりや積極性などの自立的行動習慣を身に付ける。

2 目標

- (1) 参加者8割が、最後までやり遂げる力が身についたと答えることができる。
- (2) 参加者8割が、友達と仲良くなり、思いやりをもった行動ができたと答えることができる。

3 事業展開

期日	行 程	宿泊場所	距離(km)
1日目 8・6 日曜日	第1話「阿蘇始まりの地へ」 9:30 10:00 11:00 12:00 15:30 16:00 21:30 受付 開会式 出発 阿蘇神社 小嵐山 入浴 夕食 就寝	交流の家	10.4
2日目 8・7 月曜日	第2話「大観峰での誓い」 5:00 7:00 10:00 12:00 15:00 16:00 21:30 起床 ふれあい水辺公園 大観峰 木落牧野入口 小嵐山 入浴 夕食 就寝	交流の家	18
3日目 8・8 火曜日	第3話「立野からのメッセージ」 5:00 7:15 9:00 11:30 15:30 16:00 21:30 起床 水辺ふれあい公園 産神社 どんどこ湯 あぞみヶ池公園 入浴 夕食 就寝	交流の家	19
4日目 8・9 水曜日	第4話「vs阿蘇五岳」 6:00 チームビルディング 室内を歩こう 16:00 21:30 起床 入浴 夕食 就寝	交流の家	3
5日目 8・10 木曜日	第5話「澄んだ水のように」 6:00 8:45 11:30 15:00 16:30 17:00 21:30 起床 牧場展望所 白水高原駅 明神池 白川水源 白水小 入浴 夕食 就寝	白水小	18
6日目 8・11 金曜日	第6話「最後の難関に向けて」 5:00 8:30 10:00 11:30 14:30 17:00 19:30 21:30 起床 白水小 高森駅 色見保育園 鍋の平 移動 BBQ 入浴 就寝	交流の家	18
7日目 8・12 土曜日	最終話「大草原からの贈り物」 5:00 8:30 9:30 12:00 14:00 15:30 16:30 起床 鍋の平 日ノ尾峠 一の宮公園 交流の家 閉会式 解散		14
※台風6号接近のため、網掛け部分に変更して実施。			100.4

(2) 活動の様子



【事前説明会】



【1日目 移動風景】



【2日目 体育館でテント泊】



【4日目 チームビルディング】



【5日目 水源にて】



【7日目 ゴール風景】

4 評価、成果と課題

(1) 評価

① 参加者の満足度

設 問	項目	満足	やや満足	やや不満	不満
キャンプ全体を通しての満足度はどれくらいですか。	回答数 (人)	22	0	0	0
	割合 (%)	100.0	0.0	0.0	0.0
あきらめないで最後まで頑張りぬこうという気持ちをこれまでよりも持てるようになりましたか。	回答数 (人)	22	0	0	0
	割合 (%)	100.0	0.0	0.0	0.0
思いやりをもって友達に接することが、これまでよりもできるようになりましたか。	回答数 (人)	20	1	1	0
	割合 (%)	90.9	4.5	4.5	0.0

② 参加者の声

- ・ キャンプをとおして身についた「つらくても頑張る心」と「行動力」をこれからの生活で生かしていきたい。
- ・ 100km を歩くうえで色々つらい時があった。それでも頑張ることができて、気持ちの面で強くなったと思う。
- ・ きつい時に班のメンバーと声をかけながら歩くことができた。それが支えになったか分からないが、思いやりをもって行動できた。
- ・ とても長くて充実した1週間だった。色んなことがあったがとても楽しかった。

(2) 成果

- 法人ボランティアを班に2名配置することで、100km の行程中の安全指導が行き届いた。
また、参加者に対してもコミュニケーションの取り方など細かいところまで指導が行き届き、班のメンバー同士のコミュニケーションやチームワークが向上した。
- 台風の影響により室内での活動に変更した際、参加者から「チームみんなで 100km を歩きたい」という声があがった。館内を歩いたり、行程を変更して距離を確保したりといった工夫をしながら目標の 100km を踏破することができ、満足度 100% を得ることができた。
- 阿蘇医療センター連携し、専門的なアドバイスを得ることができ、熱中症や感染症対策について、事前説明会や職員・ボランティア研修に生かすことで、全員無事にゴールできた。

(3) 課題

- 天候不良時の対策は行っていたが、台風の接近により臨機応変に対応することが多かった。情報収集や態度決定、コースの下見など参加者の安全面の確保のために実施した事項を次年度に引き継ぎを行う。
- 大学の試験や集中講義により、期間中のボランティア確保が難しかったため、事業期日やボランティア募集の仕方を検討する必要がある。